

小中一貫教育ではこのようなことに取り組みます

(1) 中学校区共通の教育目標の設定

中学校区の小・中学校を一つの学校として、一丸となって小中一貫教育を進めるため、各中学校区で児童生徒の実態を踏まえ、共通の教育目標を設定します。

(2) 小中一貫教育標準カリキュラムによる9年間を見通した一貫性のある授業

児童生徒の学力の充実、さらなる向上を図るため、舞鶴市教育委員会において作成した標準カリキュラムをもとにして、児童生徒の発達段階に応じた義務教育9年間を見通した系統的・継続的な授業を行います。

(3) 小学校高学年からの一部教科担任制、小中教員による乗入授業の実施

学級担任制から教科担任制へと指導体制が変わる環境変化への対応や、より専門的な教科指導、児童一人一人に応じたきめ細かな指導を実現するため、中期において一部教科担任制や乗入授業を導入します。

(4) 児童生徒交流事業の実施

合同の野外活動や奉仕活動などの小学校間、小・中学校間による交流事業や、小学生の部活動体験、中学校への1日登校などを実施し、児童生徒の自己存在感・自己肯定感の向上、コミュニケーション能力の育成を図ります。

(5) 市の特色を活かした学習活動の推進「ふるさと学習」「外国語教育」

児童生徒が、ふるさとを愛し、ふるさに誇りを持つ教育を推進するため、本市のユネスコ世界記憶遺産「引揚げの史実」をはじめ、自然や歴史、文化、産業、伝統等を取り上げた総合「ふるさと」の学習や、野外活動、職場体験学習等を実施します。

また、「国際港湾・交流都市 舞鶴」に住む児童生徒として、英語を使ったコミュニケーション能力や積極的な態度の育成を目指し、系統的・継続的な外国語教育を推進します。



舞鶴市教育振興大綱より

舞鶴市の小中学校で「小中一貫教育」がはじまります!

ふるさと舞鶴を愛し 夢に向かって将来を切り拓く 子どもをはぐくむために

舞鶴市
小中一貫教育
の概要

全ての子どもたちの学力のさらなる充実・向上と学校生活への適応に向け、義務教育9年間を連続した期間と捉え、児童生徒の発達の段階に応じた一貫性のある学習指導・生徒指導を行うとともに、教職員や児童生徒が連携・交流を深めることにより、小学校と中学校が協働して系統的・継続的な教育を推進します。

児童生徒の状況

学力の習得状況

小学校高学年から中学校で学習内容の定着度の低い子どもの割合が増加します。

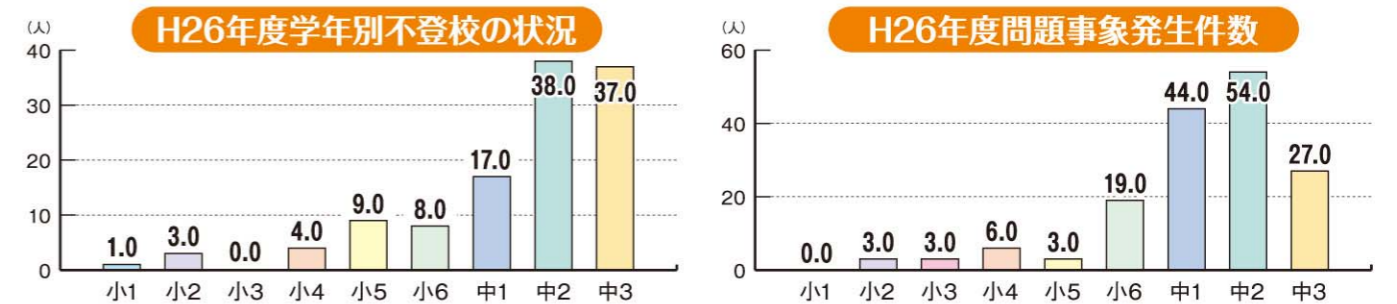


これまで、少人数教育や特別支援教育支援員等の配置によりきめ細かな授業を展開し、児童生徒の基礎的・基本的な学習内容を身に付けさせるとともに、学ぶ意欲や活用する力の向上に努めてきました。しかしながら、学力診断テストによると、小学校から中学校へ進むと学習内容の理解が難しくなる傾向が多くの子どもの見られます。

平成25年度 京都府学力診断テストより

学校生活の適応状況

中1において不登校や問題事象の発生件数が増加します。



これまで、児童生徒が生き生きと、より楽しく豊かな学校生活が送れるよう、生徒指導と道徳、特別活動などの充実を図るとともに、奉仕活動や体験活動など創意に満ちた活動を推進し児童生徒の豊かな人間性の育成に努めてきました。しかしながら、小学校においては5年生から、中学生においては1年生から生徒指導上の課題が増える傾向が見られます。この傾向は全国的な傾向であり大きな課題となっています。

平成26年度 児童生徒の問題行動等 生徒指導上の諸問題に関する調査より

「人を育てる」舞鶴の小中一貫教育

～ふるさと舞鶴を愛し 夢に向かって 将来を切り拓く子どもの育成～

0歳から15歳までの切れ目ない、質の高い教育を目指します。

小中一貫教育で目指すこと

- (1)義務教育9年間で修得するにふさわしい学力の定着
- (2)豊かな人間性や社会性の育成
- (3)小中教職員の協働による9年間を見通した一貫性・継続性のある指導

小中一貫教育の進め方

- (1)9年間で4・3・2の教育区分として、9年間を見通したカリキュラムを編成し、小中学校が共通の教育目標を設定する。
- (2)9年間を見通した系統的・継続的な標準カリキュラムを作成し、それぞれの学年で身に付けなければならない力を付け切る取組を展開する。
- (3)「舞鶴市教育委員会指定研究実践校」による「施設分離型」の小中一貫教育の実践をPDCAサイクルで検証しながら全市に広めていく。
- (4)学校・家庭・地域が協働できるよう、全中学校区に地域支援本部事業を立ち上げていく。

- ◆ふるさと舞鶴を愛し、誇りに思う子ども
- ◆夢を持ち、学び続ける力を持った子ども
- ◆社会の一員として、志を持った子ども

こんな学校だといいなあ

子ども(保護者)が「この学校で学んで(学ばせて)よかった」と思える学校



- ◎小学校と中学校の教職員が協働して取り組める中学校ブロック
- ◎小中一貫した目指す子ども像の達成に向けて連携できる中学校ブロック

こんな先生だといいなあ

子どもが「この先生に出会えてよかった」と思える先生



- ◎小学校、中学校という枠組みや学年の枠を越えて指導に当たることができる先生
- ◎小中学校お互いの専門性を融合させる協働の取組を進め授業改善や教職員の指導力、授業力の向上を目指す先生

乳幼児期

学びの芽生え

質の高い乳幼児教育

家庭の教育力

子どもが「明日も頑張ろう」と思える家庭

- ◎子どもの成長段階に応じた基本的生活習慣と学習習慣をしっかりと身に付ける家庭
- ◎子どもへの声かけと語り合いがたっぷりの家庭
- ◎家族の大切さを感じ、地域社会の一員としての自覚が生まれる家庭

基礎・基本の習得と定着

学習習慣の確立

基本的生活習慣の確立

中期 小5～中1

基礎・基本の活用

コミュニケーション能力の育成

自尊感情の回復・高揚

後期 中2・中3

基礎・基本の活用・応用

義務教育9年間にふさわしい学力

自己実現・自己決定・自己選択

中1ギャップの解消

語る自分の志
早期化する思春期

自尊感情が高まる
持ち味発揮

小1プロブレムの解消 舞鶴市乳幼児教育ビジョン

社会性が高まる
大好きがいっぱい

小5・小6で
乗り入れ授業と
一部教科担任制

地域の教育力

子どもが「この地域、この町、舞鶴に生まれてよかった」と思える地域

- ◎子どもたちの安心・安全・見守り・声かけに積極的に取り組む地域
- ◎「学校づくり」と「学校支援」に積極的に取り組む地域
- ◎地域の伝統文化や豊かな自然を活かした人材育成に積極的に取り組む地域

家庭・地域の支え